

ジェット駆動「フライボード」でドーバー海峡をひとつ飛び?の快挙

本日の私の注目記事はフライボードである。映画バック・トゥ・ザ・フューチャーではホバーボードというスケートボードの登場が画期的であったが、これは地上すれすれに移動した。今回のフライボードから連想できるものは戦闘機ハリヤーである。

ホーカー・シドレー ハリヤー (Wikipedia)

イギリスのホーカー・シドレー社が開発した世界初の  
実用垂直離着陸機 (VTOL 機) である。

これを小型化したものが、今回のフライボードになる  
と思われる。したがって、推力を発生させるのは小型の  
ジェットエンジンである。時速 140km で 35km を飛行  
するのに要する時間は 15 分である。実際には 20 分か  
かったとあるので、差分の 5 分間は、行程途中の船上で  
の灯油燃料の補給時間と言うことになるのだろう。

神戸新聞以外の情報も取得した。

仏発明家、「フライボード」による英海峡横断に成功

2019年8月4日 AFPBB News

【AFP＝時事】先月行った 1 回目の挑戦は、海上での  
給油の際に海に落下し失敗していた。

ザパタ氏は、ジェットエンジンを搭載したフライボ  
ードでフランス北部沿岸のサンガット (Sangatte) を離  
陸。20 分後に英イングランド南部沿岸のドーバー (Dover) に到着した。

ザパタ氏のフライボードは小型のタービン 5 基を搭載しており、最高速度は時速 190 キロに達する。燃料の灯油はバックパックの中に積載されているが 10 分ほどしか飛行できない。

7月25日の1回目の挑戦では、バックパック交換のため英国の領海内に待機していた船への着艦に失敗。海へ転落していた。

ザパタ氏は今回、水面から 15~20 メートルの高さを平均時速 140 キロで飛行し、35 キロの行程を 20 分で横断する計画を立てていた。

神戸新聞 2019.8.5

起立状態で飛行可能「フライボード」

4日「フライボード」で英南部ドーバー付近を飛行するフランキー・ザパタ氏 (AFP共同)

仏発明家 英仏海峡を横断

【ロンドン共同】フランスの男性発明家フランキー・ザパタ氏(40)が4日、起立した状態で搭乗する飛行装置「フライボード」による英仏海峡の横断に成功した。7月にも挑戦したが失敗しており、2度目で悲願を達成した。欧州メディアが報じた。

7月25日に挑戦した際は、ジェットスキーの世界的な選手だったザパタ氏は、灯油を燃料とするフライボードを「3年前に」(同氏)自ら開発。4日朝にフランス北部沿岸サンガットを出発し、35キロ程度の距離を約20分で飛んで英南部ドーバーに着陸した。英側への到着後、ザパタ氏は記者団に「最後の5、6分は本当に楽しかった。今回の成功が歴史的偉業かどうかは目が眩むくらい」と語った。

「3年前に」(同氏)自ら開発。4日朝にフランス北部沿岸サンガットを出発し、35キロ程度の距離を約20分で飛んで英南部ドーバーに着陸した。英側への到着後、ザパタ氏は記者団に「最後の5、6分は本当に楽しかった。今回の成功が歴史的偉業かどうかは目が眩むくらい」と語った。

7月25日に挑戦した際は、ジェットスキーの世界的な選手だったザパタ氏は、灯油を燃料とするフライボードを「3年前に」(同氏)自ら開発。4日朝にフランス北部沿岸サンガットを出発し、35キロ程度の距離を約20分で飛んで英南部ドーバーに着陸した。英側への到着後、ザパタ氏は記者団に「最後の5、6分は本当に楽しかった。今回の成功が歴史的偉業かどうかは目が眩むくらい」と語った。